

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【公表番号】特表2011-504731(P2011-504731A)

【公表日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-007

【出願番号】特願2010-535268(P2010-535268)

【国際特許分類】

A 24D 3/02 (2006.01)

【F I】

A 24D 3/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年2月7日(2014.2.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0061

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0061】

図19は好ましい第十六実施例を示し、図9による好ましい第六実施例とは、分配ローラが無く、分配装置50が実質的に供給区分40aに付属された分配スライダ66のみを有することを相違する。分配スライドの配列と機能に関して、図9に示された好ましい第六実施例の記載で明らかになる。供給縦坑44aの出口に着座する分配スライダ66の下部には、衝突薄板86が存在し、重量計量装置88と連結されていて、特に計量タンクを有する。衝突薄板86が斜め下方に傾斜されて、直接に揺動溝90の頭部で終了し、図19で認識されるように、揺動溝がフィルタトウ帯8aを案内するフィルタトウ案内区間の方向に斜め下方に傾斜されている。この実施例では、活性炭粒子の分配は実質的に専ら分配スライド66により生じる。供給縦坑44aの流出後に分配スライダ66の下部に活性炭粒子が衝突薄板86に落下し、重量計量装置88によって活性炭粒子の正確な重量が検出される。衝突薄板86から揺動溝90への移行後に、揺動溝90内の活性炭粒子70が実質的に一定質量流に比較して、フィルタトウ帯8aに搬送される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

2、4、6 . . . 装置

8a、8b . . . フィルタトウ帯

12 . . . 選別モジュール

14 . . . ハウジング

16 . . . 入口

20 . . . ブレーキ装置

30a、30b . . . 下転向ロール

32a、32b . . . 上転向ロール

34 . . . 輸送ノズル

36 . . . 流入フィンガー

40 . . . 供給装置

4 0 a、4 0 b . . . 貯蔵容器
4 2 . . . 貯蔵容器
4 4、4 4 a、4 4 b . . . 供給縦坑
5 0 . . . 分配装置
5 2 a、5 2 b . . . 分配口一ラ
5 3 . . . 回転軸線
5 6 . . . 分離薄板
5 8 a、5 8 b . . . モータ
6 4 . . . 戻し導管
6 6 . . . 分配スライダ
6 8 a、6 8 b . . . 敷布縦坑
7 0 . . . 活性炭粒子
7 4 . . . 旋回部材
7 4 a、7 4 b . . . 板状部分
7 6 . . . 回転継手
7 8 . . . 分離薄板
8 0 . . . 調整機構
8 2、8 4 . . . 分離壁
8 6 . . . 衝突薄板
8 8 . . . 重量計量装置
9 0 . . . 搖動溝
9 2 . . . 分配スクリュー
9 4 . . . 吸込み管
9 6 . . . 送風機
9 8 . . . 別の導管
1 3 4 a . . . 輸送ノズル

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項23

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項23】

制御装置は添加剤(70)の重量を検出する少なくとも一つの重量計量装置(88)を有し、検出された重量に依存して付属分配手段(90)とそれにより与えられた添加剤(70)の量を制御することを特徴とする請求項21或いは22に記載の装置。